

■ 使用材料一覧

ノンスチレンFRP防水材

一部名称	品名	荷姿・入目	品名
プライマー	コロテクトNEOプライマー	16kg/缶	弱溶剤型1液ウレタン樹脂
	プライマーT	0.2kg/缶	特殊下地用プライマー添加剤 (コロテクトNEOプライマー1缶に対して0.2kg配合)
下塗り・中塗り樹脂	コロテクトNEO	15kg/缶	ノンスチレン樹脂
	コロテクトNEO 中塗り	15kg/缶	中塗りノンスチレン樹脂(既着色:グレー)
トップコート	コロテクトNEOトップF	15kg/缶	ノンスチレン樹脂(調色可能)平滑仕上げ用(屋内用)
	コロテクトNEOトップN	15kg/缶	防火用ノンスチレン樹脂防火用防滑仕上げ
硬化剤および助剤	硬化剤328E	1kg、5kg/缶	硬化剤
	コロテクトNEOトップ専用促進剤	1kg/缶	コロテクトNEOトップF用硬化促進剤
	コロテクトNEO硬化促進剤	1kg、15kg/缶	硬化促進剤
	コロテクトNEO希釈剤	1kg/缶	希釈剤
	コロテクトNEO増粘剤	1kg/缶	増粘剤
	コロテクトNEO遅延剤	1kg/缶	遅延剤



ディックブルーフィンク株式会社

本社・東京営業所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-24-3 新宿スリーケービル5F
TEL (03)6859-5020(代) FAX (03)6859-5024

大阪営業所

〒531-0071 大阪市北区中津1-11-1 中津センタービル8F
TEL (06)7711-8501(代) FAX (06)7711-8511

名古屋営業所

〒464-0850 名古屋市千種区今池5-1-5 名古屋センタープラザビル8F
TEL (052)744-1011(代) FAX (052)735-0011

札幌営業所

〒060-0809 札幌市北区北9条西3-19-1 ノルテプラザビル3F
TEL (011)804-8070(代) FAX (011)804-8071

URL <http://www.dpcdpc.com/>



◀ ディックブルーフィンク
ホームページQRコード
ぜひご覧ください!

※品質向上の為、断りなく仕様又は材料を変更する場合があります。

取扱店

建築・土木用のFRP防水工法



コロテクトシステム

ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂
ノンスチレン樹脂

コロテクトシステムはデッキプルーフィング株式会社の不飽和ポリエステル樹脂に関する豊富な技術の蓄積と、永年の経験をもとに開発した、建築・土木用の軟質 FRP 防水工法です。

耐久性・耐候性に優れた素材と高い施工技術によって幅広い分野で多くの実績を有しています。

この度、屋内用途については、臭気を低減し、特化則に対応した工法に統合しました。防食用途については、従来の耐薬品性・耐熱性に優れたビニルエステル樹脂を使用すると共に下水道事業団用途への適用を可能にしました。

コロテクトシステムの特長

優れた防水性・耐水性

冷工法でシームレスな防水層を形成します。弊社では特に耐水性に優れたイソ系ポリエステル樹脂を使用しており、既に数多くの実績を有しております。

また、スチレンの揮発量を低くした低揮散タイプの樹脂を使用し、環境に対しても配慮しております。

優れた耐候性

船舶、高架水槽、クーリングタワー等野外でのFRP成型品と同様に優れた耐候性を有します。

仕上げ材の選定により、更に優れた耐候性を発揮します。

優れた下地接着性

プライマーの選定により様々な被着体に強力に接着します。

ドレン、手すり等の役物との納りも完全です。

優れた施工性

高温、低温にかかわらず、常に硬化時間が調節でき、また連続作業を行うことができるので、工期の短縮がはかれます。部分補修も容易です。

優れた耐久性

耐荷重・耐衝撃・耐摩擦等に優れています。

下地の挙動や温度変化による膨張・収縮にも充分追従します。

優れた耐薬品性

材料・システムの組合せにより、耐酸・耐アルカリ・耐溶剤等、優れた性能を発揮します。

※仕様についてはご相談下さい。

優れた安全性

室内工事においては、環境対応型FRP(ノンスチレン樹脂)をお奨めします。

「低臭気」、「労働安全衛生法に該当しない」タイプで優れた安全性を有した製品です。

コロテクトシステムの 各工法と用途

バルコニー・屋上防水工法 3

露出で重歩行が可能です。軽量で強靱な防水層です。

- 一般屋上
- ベランダ（コンパネ、モルタル下地共）
- ルーフバルコニー
- ゴンドラ使用の屋上
- 開放廊下
- 屋上庭園
- 庇

プール・水槽防水工法（プール・防火水槽・生簀・排水溝） 5

- RC プール
- 足、腰洗い槽
- すべり台
- 防火水槽
- 生け簀
- 水族館施設

浴室防水工法 7

ノンスチレン樹脂 ※環境対応(特化則対応) 7

スチレン樹脂 9

厨房・一般床防水工法 11

ノンスチレン樹脂 ※環境対応(特化則対応) 11

スチレン樹脂 13

防食床・防食工法 15

耐薬品性、耐熱性、耐溶剤性等に優れ、いろいろな防食条件に対応します。

- 防食床
- 化学・食品等の工場床
- 上下水道処理施設
- 重防食槽（薬液槽）
- 防食塗装

下水道事業団対応工法 17

不燃認定仕様 19

飛び火性能 飛び火認定詳細一覧表 20

建築工事標準仕様書（JASS8-2014） 21

可使時間 22

納まり図例 23

ビニルエステル樹脂の耐薬品性 25

プライマー 27

トップコートの塗り替え 27

基本物性 28

注意事項 29

使用材料一覧 30

■ バルコニー・屋上防水工法 (ポリエステル樹脂)

CT-100R仕様

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
CT-1-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000	CTカラートップN		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡※1		
CT-1-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000 +パラフィン	コンボトップ AU +ファイライト		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	又は CT-2500 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡※2		
CT-1-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 平場用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000 +パラフィン	珪砂 4号	モルタル仕上げ	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	又は CT-2500 0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事	
CTW-1-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 立上り用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	トンボ	CT-2000 +パラフィン	モルタル仕上げ	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	150mmピッチ	又は CT-2500 0.4kg/㎡	別途工事	
CT-2-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000	CTカラートップN	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡※1	
CT-2-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000 +パラフィン	コンボトップ AU +ファイライト	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	又は CT-2500 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡※2	
CT-2-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 平場用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000 +パラフィン	珪砂 4号	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	又は CT-2500 0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事
CTW-2-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 立上り用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-2000 +パラフィン	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	150mmピッチ	又は CT-2500 0.4kg/㎡	別途工事

※1 CTカラートップは、平滑仕上げFタイプもあります。
 ※2 コンボトップAUの平滑仕上げは、ファイライトを添加しないで下さい。
 (注)飛び火認定工法に関しては、19~20ページを参照して下さい。

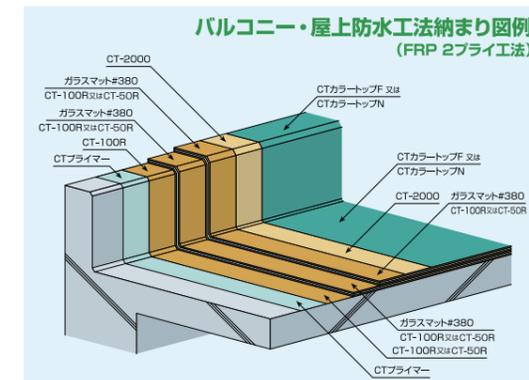
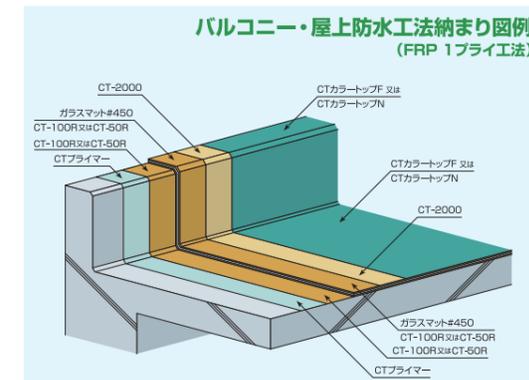
通気絶縁工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5
FV-1-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	FVシート	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000	CTカラートップN 防火用、遮熱
		0.2kg/㎡	1.0m/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡
FV-1-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー	FVシート	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000 +パラフィン	コンボトップ AU +ファイライト
		0.2kg/㎡	1.0kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	又は CT-2500 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡※

※ コンボトップAUの平滑仕上げは、ファイライトを添加しないで下さい。
 (注)FV仕様のトップコートは、遮熱用を標準とします。脱気筒を取り付けて下さい。

CT-50R仕様

仕様名	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
GT-1	CTプライマー	CT-50R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップ N 又は CTカラートップ F 0.4kg/㎡		
	0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-50R 1.6kg/㎡	CT-2000+パラフィン 又は CT-2500 0.4kg/㎡	コンボトップ AU 又は コンボトップ AU+ファイライト 0.2kg/㎡		
GT-2	CTプライマー	CT-50R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップ N 又は CTカラートップ F 0.4kg/㎡	
	0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-50R 1.4kg/㎡	CT-50R 1.4kg/㎡	CT-2000+パラフィン 又は CT-2500 0.4kg/㎡	コンボトップ AU 又は コンボトップ AU+ファイライト 0.2kg/㎡	
GN-1 (寒冷地仕様)	CTプライマー	CT-50R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-2000 0.5kg/㎡	CTカラートップ N 又は CTカラートップ F 0.4kg/㎡		
	0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-50R 2.0kg/㎡	CT-2000+パラフィン 又は CT-2500 0.5kg/㎡	コンボトップ AU 又は コンボトップ AU+ファイライト 0.2kg/㎡		
GN-2 (寒冷地仕様)	CTプライマー	CT-50R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000 0.5kg/㎡	CTカラートップ N 又は CTカラートップ F 0.4kg/㎡	
	0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-50R 1.6kg/㎡	CT-50R 1.6kg/㎡	CT-2000+パラフィン 又は CT-2500 0.5kg/㎡	コンボトップ AU 又は コンボトップ AU+ファイライト 0.2kg/㎡	
GT-2 (防火)	CTプライマー	CT バテ	CT-50R 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップ N (防火用) 0.4kg/㎡
	0.2kg/㎡	(補強板の目地処理)		CT-50R 1.4kg/㎡	CT-50R 1.4kg/㎡		



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。(パーメックNR(K)04の添加量は2ページを参照)
CT-100R、CT-2000、CT-2500、CTカラートップN、CTカラートップF
- パラフィン(RS-401(夏期用)又はRS-402(春秋冬期用))の添加量は、4~6%です。
- ファイライトの添加量は、コンボトップ AU (18kg) 1セットに対して、1箱(0.5kg)です。
- 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
- モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
①平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
②立上り用のトンボを取り付けるには、CTバテ(要:パーメックNR(K)04の添加)を使用して下さい。
- CTカラートップ及びコンボトップAU塗布前にバリ取りを行なって下さい。

■ プール・水槽防水工法

(ポリエステル樹脂)

(プール・防火水槽・生簀・排水溝)

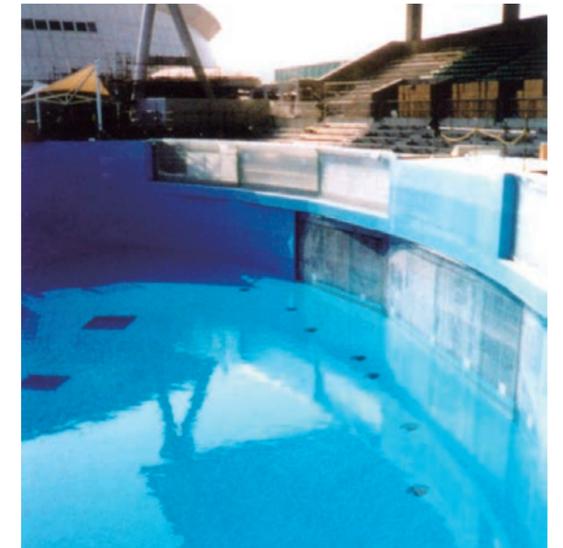
1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9
P-1S-F	洗体槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	研 磨	CT-3000 +CTトナー +パラフィン又は CT-3000トップコート 0.4kg/㎡	研 磨	コンボトップ AU 0.2kg/㎡	コンボトップ AU 0.2kg/㎡
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡					
P-1-F	厨房排水溝等 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡			
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡					



2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9	工程 10
P-2S-F	RC造プール (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	研 磨	CT-3000 +CTトナー +パラフィン又は CT-3000トップコート 0.4kg/㎡	研 磨	コンボトップ AU 0.2kg/㎡	コンボトップ AU 0.2kg/㎡
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡					
P-2-T	RC造プール 平場用 (タイル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 +パラフィン	珪砂 4号	タイル仕上げ 別途工事			
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡				
PW-2-T	RC造プール 立上り用 (タイル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-3000 +パラフィン	タイル仕上げ 別途工事			
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡				
P-2-F	防火水槽・生簀 飼育プール (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡			
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡					



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。
(パーメックNR(K)04の添加量は22ページを参照)
CT-100R、CT-3000、CT-3000中塗り、CT-3000トップコート
- CT-3000トップコートの代わりにCT-3000+CTトナー+パラフィン(RS-401(夏期用)又はRS-402(春秋冬期用))とする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がございますので注意下さい。
配合は、CT-3000(16kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶、パラフィン800gです。
- CT-3000中塗りの代わりにCT-3000+CTトナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がございますので注意下さい。
配合は、CT-3000(16kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶です。
- 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
- タイル、モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
 - 平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
 - 立上り用のトンボを取り付けるには、CT-3000にタルクを1:1の配合混合したパテ剤(要:パーメックNR(K)04の添加)を使用して下さい。



注 意 事 項

- プールへの採用については事前にメーカーへご相談下さい。
(仕様選定、材料選定、施工上の注意点、保証内容等に注意を必要とするため)
- 温水プールには対応できません。
- トップコートは経年により、膨れ、黒点等が発生することがあります。常温で固めるFRPの樹脂は硬化剤にパーメックNR(K)04を使用します。この硬化剤にはナフテン酸コバルトを触媒として用いる必要があります。しかし、このナフテン酸コバルトはプール水に添加される次亜塩素酸ナトリウムと化学反応を起こし、黒く変色する特徴があります。この現象は、全ての現場で発生しているわけではありませんが、一度発生してしまうと、その現場を補修することがかなり難しく(また発生する可能性が非常に高い)なることが予想されます。この現象は、特に温水プールが多く、屋外プールでも水温の高いプールでは発生率が高くなります。
- プールサイドには、FRP、ウレタン、防塵塗装の仕様を組み合わせることができます。

浴室防水工法

※環境対応（特化則対応）
（ノンステレン樹脂）

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
NB-1-F	洗い場 風呂釜下 (平滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.4kg/㎡	バリ取り	コロテクトNEO 中塗り	研 磨	コロテクトNEO トップF
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡		0.4kg/㎡		0.4kg/㎡
NB-1-N	洗い場 風呂釜下 (防滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.4kg/㎡	バリ取り	コロテクトNEO 中塗り	研 磨	コロテクトNEO トップF 0.4kg/㎡ + 珪砂 7号※
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡		0.4kg/㎡		



2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8
NB-2-F	洗い場 (平滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.2kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	バリ取り	コロテクトNEO 中塗り	研 磨	コロテクトNEO トップF
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.2kg/㎡	1.2kg/㎡		0.4kg/㎡		0.4kg/㎡
NB-2-N	洗い場 (防滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.2kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	バリ取り	コロテクトNEO 中塗り	研 磨	コロテクトNEO トップF 0.4kg/㎡ + 珪砂 7号※
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.2kg/㎡	1.2kg/㎡		0.4kg/㎡		
NB-2-T	洗い場 平場用 (タイル仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.2kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	コロテクトNEO トップF	珪砂 4号	タイル仕上げ	別途工事
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.2kg/㎡	1.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡		
NBW-2-T	洗い場 立上り用 (タイル仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ ----- コロテクトNEO 1.2kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	コロテクトNEO トップF	タイル仕上げ	別途工事
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.2kg/㎡	1.2kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡		



ノンステレンFRPの混合手順と配合割合

コロテクトNEO、コロテクトNEO中塗り 混合手順

手順	混合攪拌
1	コロテクトNEOを必要量だけ容器に入れる。
2	混合攪拌した樹脂に、硬化剤328Eを所定の割合で混入する。
3	↓十分に混合攪拌する

コロテクトNEO、コロテクトNEO中塗り 配合割合例

材料名	冬 5℃	春秋 20℃	夏 30℃
コロテクトNEO、コロテクトNEO中塗り	100	100	100
硬化剤328E	3.0 ~ 5.0	1.5 ~ 3.0	1.5 ~ 2.5

コロテクトNEOトップF(平滑仕上げ) 混合手順

手順	混合攪拌
1	コロテクトNEOトップFを必要量だけ容器に入れる。
2	コロテクトNEOトップFに、コロテクトNEOトップ専用促進剤を所定の割合で混入する。
3	↓十分に混合攪拌する
4	混合攪拌した樹脂に、硬化剤328Eを所定の割合で混入する。
5	↓十分に混合攪拌する

コロテクトNEOトップF(平滑仕上げ) 配合割合例

材料名	冬 5℃	春秋 20℃	夏 30℃
コロテクトNEOトップF	100	100	100
コロテクトNEOトップ専用促進剤	2.0	2.0	2.0
硬化剤328E	2.0 ~ 5.0	1.2 ~ 3.0	1.2 ~ 2.5

(注)冬期(5℃以下)の場合には、コロテクトNEO冬期硬化促進剤1%を添加後、十分に混合攪拌してから硬化剤328Eを添加して下さい。

コロテクトNEOトップF+珪砂7号(防滑仕上げ) 混合手順

手順	混合攪拌
1	コロテクトNEOトップFを必要量だけ容器に入れる。
2	コロテクトNEOトップFに、珪砂7号を所定の割合で混入する。
3	↓十分に混合攪拌する
4	コロテクトNEOトップFに、コロテクトNEOトップ専用促進剤を所定の割合で混入する。
5	↓十分に混合攪拌する
6	混合攪拌した樹脂に、硬化剤328Eを所定の割合で混入する。
7	↓十分に混合攪拌する

コロテクトNEOトップF+珪砂7号(防滑仕上げ) 配合割合例

材料名	冬 5℃	春秋 20℃	夏 30℃
コロテクトNEOトップF	100	100	100
珪砂7号	10	10	10
コロテクトNEOトップ専用促進剤	2.0	2.0	2.0
硬化剤328E	2.0 ~ 5.0	1.2 ~ 3.0	1.2 ~ 2.5

※「コロテクトNEOトップF+珪砂7号(防滑仕上げ)」の表を参照下さい。



注意事項

- ① 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- ② 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。
- ③ ビニルエステル樹脂の仕様については、メーカーへご相談下さい。

施工上の注意事項

1. 下記の材料には、コロテクトNEOトップ専用促進剤と硬化剤328Eを添加して使用して下さい。
コロテクトNEOトップ
下記の材料には、硬化剤328Eを添加して使用して下さい。
コロテクトNEO、コロテクトNEO中塗り、コロテクトNEOトップN
2. 工程1のコロテクトNEOプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度コロテクトNEOプライマーを塗布して下さい。
3. タイル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
①平場用の珪砂の散布は、前工程のコロテクトNEOトップFの施工直後に行い、コロテクトNEOトップFの硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
②立上り用のトンボを取り付けるには、コロテクトNEOにタルクを1:1の配合混合したパテ剤(要:硬化剤328Eの添加)を使用して前工程のFRPライニングの施工後に行って下さい。
4. 防滑仕上げの場合には、コロテクトNEOトップFに対して、珪砂7号を10%配合して下さい。
※施工前に必ずコロテクトNEOの施工上の注意点(小冊子)をお読み下さい。小冊子については、担当営業までお問い合わせ下さい。

■ 浴室防水工法 (スチレン樹脂)

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8
B-1S-F	洗い場 風呂釜下 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	バリ取り	CT-3000 中塗り	研 磨	CT-3000 トップコート
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡		0.4kg/㎡		0.4kg/㎡



2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9
B-2S-F	洗い場・浴槽 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-3000	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	バリ取り	CT-3000 中塗り	研 磨	CT-3000 トップコート
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡		0.4kg/㎡		0.4kg/㎡
B-2-T	洗い場・浴槽 平場用 (タイル仕上げ)	CT プライマー	CT-3000	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 +パラフィン	珪砂 4号	タイル仕上げ		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事		
BW-2-T	洗い場・浴槽 立上り用 (タイル仕上げ)	CT プライマー	CT-3000	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-3000 +パラフィン	タイル仕上げ		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡	別途工事		



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR (K) 04 を添加して使用して下さい。
(パーメック NR (K) 04 の添加量は 22 ページを参照)
CT-3000、CT-3000 中塗り、CT-3000 トップコート
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- タイル、モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
①平場用の珪砂の散布は、前工程の FRP 樹脂の施工直後に行い、FRP 樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
②立上り用のトンボを取り付けるには、CT-3000 にタルクを 1:1 の配合混合したパテ剤 (要:パーメック NR (K) 04 の添加) を使用して下さい。

注 意 事 項

- ① 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- ② 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。



FRP 材料に含まれている「スチレン」は、室内においては特定化学物質となりますので下記の措置が必要となります。

- 1 発散の抑制措置 (局所排気装置等の設置)
- 2 立入り禁止措置 (関係者以外の立入り禁止とその旨の表示)
- 3 特定化学物質作業主任者の選任
- 4 作業場に取扱い上の注意事項等の掲示

※その他、ご不明な点があればご相談下さい。



■ 厨房・一般床防水工法

※環境対応（特化則対応）
（ノンスチレン樹脂）

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6
NT-1-N	厨房・一般床 (防滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	コロテクトNEO 中塗り	珪砂 5～7号	コロテクトNEO トップF
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0～2.0kg/㎡	0.4kg/㎡
NT-1-F	厨房・一般床 排水溝 (平滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	コロテクトNEO 中塗り	コロテクトNEO トップF	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	

2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
NT-2-N	厨房・一般床 (防滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	コロテクトNEO 中塗り	珪砂 5～7号	コロテクトNEO トップF
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0～2.0kg/㎡	0.4kg/㎡
NT-2-F	厨房・一般床 (平滑仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	コロテクトNEO 中塗り	コロテクトNEO トップF	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	
NT-2-M	厨房・一般床 排水溝 平場用 (モルタル仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	コロテクトNEO トップF	珪砂 4号	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事
NTW-2-M	厨房・一般床 排水溝 立上り用 (モルタル仕上げ)	コロテクトNEO プライマー	コロテクトNEO	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	コロテクトNEO トップF	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	コロテクトNEO 1.2kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡	別途工事

施工上の注意事項

- 下記の材料には、コロテクトNEOトップ専用促進剤と硬化剤328Eを添加して使用して下さい。
コロテクトNEOトップ
下記の材料には、硬化剤328Eを添加して使用して下さい。
コロテクトNEO、コロテクトNEO中塗り、コロテクトNEOトップN
ただし、冬期の場合には、さらにコロテクトNEO硬化促進剤を添加して下さい。
(混合手順と配合割合は、7,8ページを参照)
- 工程1のコロテクトNEOプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度コロテクトNEOプライマーを塗布して下さい。
- モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
①平場用の珪砂の散布は、前工程のコロテクトNEOトップの施工直後に行い、コロテクトNEOトップの硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
②立上り用のトンボを取り付けるには、コロテクトNEOにタルクを1:1の混合配合したパテ剤(要:硬化剤328Eの添加)を使用して前工程のFRPライニングの施工後に行ってください。
- 平滑仕上げの場合には、最終仕上げの前にバリ取りを行ってください。

コロテクトNEO取扱注意事項

- 硬化剤328EとコロテクトNEOトップ専用促進剤の同時混合は厳禁です。直接触れると発火するため大変危険です。
- コロテクトNEOトップ専用促進剤および硬化剤328Eが入った材料が残った場合、作業後速やかに水を張って冷却し発熱を防止して下さい。
- 作業で使用したウエスや軍手類は、付着した材料が発熱し、着火することがあるので必ず水を張った容器に浸し、発熱を防止して下さい。
- コロテクトNEOトップ専用促進剤および硬化剤328Eが直接触れないよう、空容器(バケツ)に小分けするなどの措置を講じて下さい。



注意事項

- 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。
- 厨房床では、漂白剤の使用により変色する場合がありますので仕上げについては、別途メーカーへご相談下さい。
- ビニルエステル樹脂の仕様については、メーカーへご相談下さい。

■ 厨房・一般床防水工法 (スチレン樹脂)

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6
T-1-N	厨房・一般床 (粗面仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り	珪砂 5～7号	CT-3000 トップコート
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0～2.0kg/㎡	0.5kg/㎡
T-1-F	厨房・一般床 排水溝 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	

2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
T-2-N	厨房・一般床 (粗面仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り	珪砂 5～7号	CT-3000 トップコート
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0～2.0kg/㎡	0.5kg/㎡
T-2-F	厨房・一般床 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	
T-2-M	厨房・一般床 排水溝 平場用 (モルタル仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 +パラフィン	珪砂 4号	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事
TW-2-M	厨房・一般床 排水溝 立上り用 (モルタル仕上げ)	CT プライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-3000 +パラフィン	モルタル仕上げ
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡	別途工事

施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR (K) 04 を添加して使用して下さい。
(パーメック NR (K) 04 の添加量は 22 ページを参照)
CT-100R、CT-3000、CT-3000 中塗り、CT-3000 トップコート
- CT-3000 トップコートの代わりに CT-3000+CT トナー+パラフィン (RS-401 (夏期用) 又は RS-402 (春秋冬期用)) とする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がありますのでご注意ください。
配合は、CT-3000 (16kg) 1 缶に対して、CT トナー (1kg) 1 缶、パラフィン 800g です。
- CT-3000 中塗りの代わりに CT-3000+CT トナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がありますのでご注意ください。
配合は、CT-3000 (16kg) 1 缶に対して、CT トナー (1kg) 1 缶です。
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
① 平場用の珪砂の散布は、前工程の FRP 樹脂の施工直後に行い、FRP 樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
② 立上り用のトンボを取り付けるには、CT パテ (要: パーメック NR (K) 04 の添加) を使用して下さい。
- 平滑仕上げの場合には、最終仕上げの前にバリ取りを行って下さい。



注意事項

- 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。
- 厨房床では、漂白剤の使用により変色する場合がありますので仕上げについては、別途メーカーへご相談下さい。



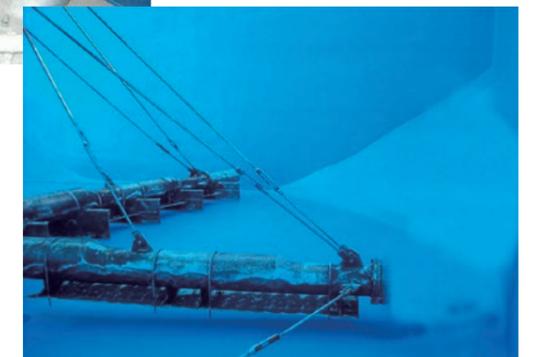
FRP 材料に含まれている「スチレン」は、室内においては特定化学物質となりますので下記の措置が必要となります。

- 発散の抑制措置 (局所排気装置等の設置)
- 立入り禁止措置 (関係者以外の立入り禁止とその旨の表示)
- 特定化学物質作業主任者の選任
- 作業場に取扱い上の注意事項等の掲示

※その他、ご不明な点があればご相談下さい。

■ 防食床・防食工法 (ビニルエステル樹脂)

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8
L-1-N	防食用一般床 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り	珪砂 5~7号	CT-3000 トップコート		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.8kg/㎡	0.4kg/㎡		
L-1-F	防食用一般床 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート			
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡			
L-2-N	化学工場床 食品工場床 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り	珪砂 5~7号	CT-3000 トップコート	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.8kg/㎡	0.4kg/㎡	
L-2-F	化学工場床 食品工場床 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	CT-3000 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡		
L-1S-F	水槽・防油堤 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート		
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡		
L-2S-F	薬液槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート	
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	
L-3S-F	雑廃槽 重防食槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-3000	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 中塗り	CT-3000 トップコート
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 1.6kg/㎡	CT-3000 0.6kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡
FL-3-F	フレックライニング 防食塗装 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CTフレック	CTフレック	CTフレック トップコート				
		0.2kg/㎡	0.4kg/㎡	0.4kg/㎡	0.2kg/㎡				



1. 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。

(パーメックNR(K)04の添加量は22ページを参照)

CT-3000、CT-3000中塗り、CT-3000トップコート、CTフレックトップコート

下記の材料には、硬化剤328Eを添加して使用して下さい。

CTフレック

2. CT-3000トップコートの代わりにCT-3000+CTナー+パラフィン(RS-401(夏期用)又はRS-402(春秋冬期用))とする場合は、

色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。

配合は、CT-3000(16kg)1缶に対して、CTナー(1kg)1缶、パラフィン800gです。

3. CT-3000中塗りの代わりにCT-3000+CTナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。

配合は、CT-3000(16kg)1缶に対して、CTナー(1kg)1缶です。

4. 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。

このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。

5. 平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。

6. 平滑仕上げの場合には、最終仕上げの前にバリ取りを行って下さい。

注意事項

- ① 工法及びビニルエステル樹脂を選定するためには、使用する薬品の種類、濃度、温度をご連絡して下さい。
- ② 適用部位による仕様の選定は、メーカーへご相談下さい。
- ③ 防食床・防食工法は、防水保証ができませんのでご了承下さい。
- ④ トップコートは経年により、膨れ、黒点等が発生することがあります。
- ⑤ 適用部位によっては、CT-5000(ノボラック型ビニルエステル樹脂)を使用することがありますので、ご相談下さい。

注) CT-5000を使用する場合には、CTコバルトを0.3~1.0混合攪拌した後、更にパーメックNR(K)04(硬化剤)を混合攪拌して下さい。

■ 下水道事業団対応工法 (ビニルエステル樹脂)

下水道事業団対応工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6
C種 L-1S-F	下水道処理施設 (平滑仕上げ)	CTプライマーJS	CTパテJS	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 トップコートJS	
		0.2kg/㎡	0.5kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡	
D種 L-2S-F	下水道処理施設 (平滑仕上げ)	CTプライマーJS	CTパテJS	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 トップコートJS
		0.2kg/㎡	0.5kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡

施工上の注意事項

1. 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。
(パーメックNR(K)04の添加量は22ページを参照)
CT-3000JS、CT-3000トップコートJS、CTパテJS

注意事項

- ① 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- ② 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談ください。



不燃認定仕様

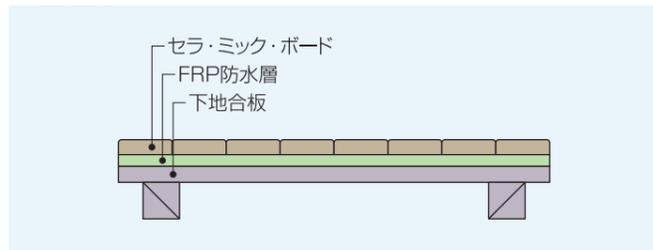
国土交通大臣認定仕様
認定番号：NM-3838

耐火化粧板による簡単工事で快適空間を作ります。

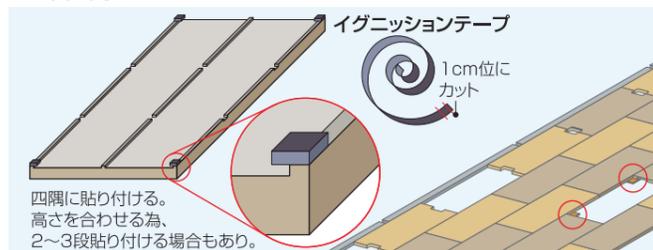
- コロテクトシステムによる高い防水性能
- FRC 製耐火化粧板がもたらす優れた耐火性能と耐久性
- 置くだけの簡単な工事（乾式工法）



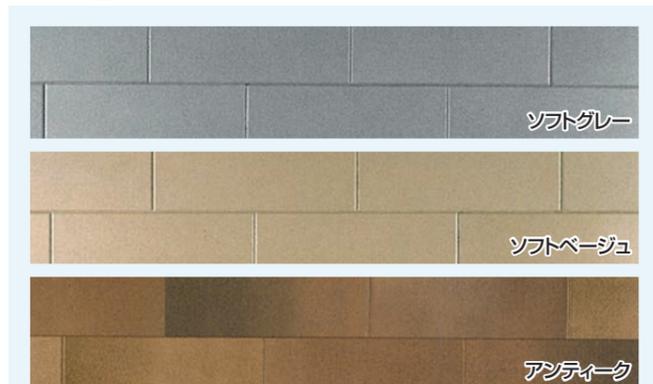
構成図



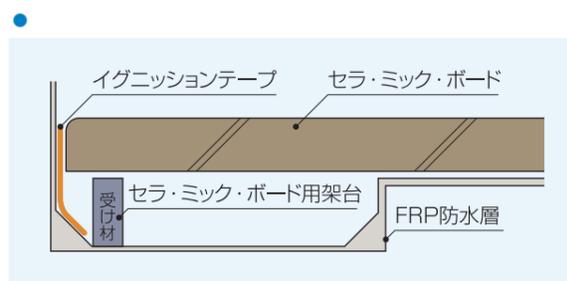
不陸調整



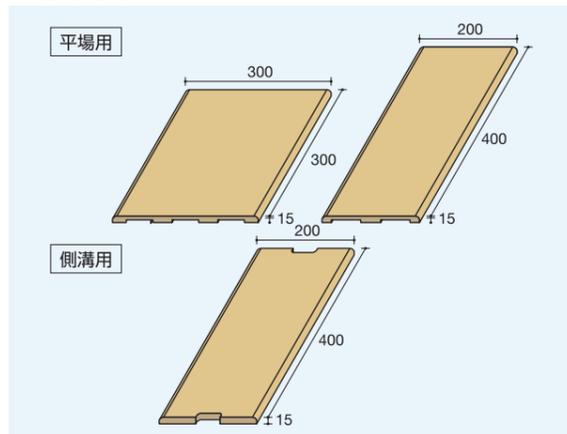
標準色



※ 現品はこの写真とは多少異なる場合がございます。



製品仕様



飛び火性能

飛び火試験

火災が生じた際、火の粉などによる周囲への火災の被害を防ぐために、建築基準法では防火関連法規（地域・屋根の構造・屋根材の規定など）を定めています。

■ 建築物が防火地域、準防火地域にある場合の屋根構造

屋根については、建築基準法63条に基づき、建築物の屋根構造を定めています。建設省公示第1365号の方法を用いるか、または、国土交通大臣認定を受けた仕様とします。

■ 建設省公示第1365号(平成12年5月25日)

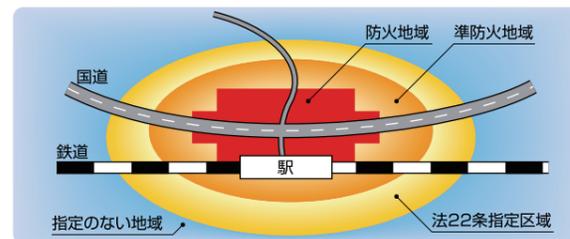
建築基準法第63条の規定に基づき、防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造方法を次のように定める。

防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造方法を定める件

- 第1 建築基準法施行令第136条の2の2各号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、次に定めるものとする。
- 1 不燃材料で造るか、又はふくこと。
 - 2 屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る。）とする。
 - 3 屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30度以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50ミリメートル以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴムシート防水工法又は塗膜防水工法を用いたものに限る。）を張ったものとする。
- 第2 建築基準法施行令第136条の2の2第一号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、第1に定めるもののほか、難燃材料で造るか、又はふくこと。

地域の区分

防火地域（建築基準法61条）、準防火地域（建築基準法62条）は都市計画法によって、市街地における火災の危険を防ぐために指定した地域です。22条指定区域は特定行政庁が防火地域、準防火地域以外の市街地について指定した地域です。



飛び火性能認定詳細一覧

仕様名	DR-0363	DR-0366	DR-0369	DR-0372	DR-0375	DR-0378
	CT-2-N (防火) ※					
FRP 防水	工程7	CT カラートップ N (防火用) [1004 グレー・1007 グレー・442 グリーンのみ]			0.4kg/m ²	
	工程6	CT-2000			0.4kg/m ²	
	工程5	ガラスマット #380 張付け CT-100R			1.4kg/m ²	
	工程4	ガラスマット #380 張付け CT-100R			1.4kg/m ²	
	工程3	CT-100R			0.4kg/m ²	
	工程2	CT パテ (補強材の目地処理材)			—	
	工程1	CT プライマー			0.2kg/m ²	
補強材	● 木質系ボード 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS) ・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル)	● 繊維混入 けい酸カルシウム板 (JISA5430 不燃材料) 厚さ：9mm以上	—		● 木質系ボード 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS) ・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル)	● 繊維混入 けい酸カルシウム板 (JISA5430 不燃材料) 厚さ：9mm以上
	● ねじ 野地板の留め付け用 鋼製ねじ 長さ：38mm以上径：3.8mm以上	—		● ねじ 野地板の留め付け用 鋼製ねじ 長さ：38mm以上径：3.8mm以上	—	
断熱材	—			ポリスチレンフォーム 厚さ：～150mm		
下地	● 野地板 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS)・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) ● 支持部材 (たる木) 一般製材 (JAS) 大きさ：幅 30mm×高さ 40mm以上 施工間隔：455mm以下	● コンクリート下地 厚さ：50mm以上 ・ALC (軽量気泡コンクリートパネル) ・PC (プレキャストコンクリート) ・RC (鉄筋コンクリート)		● 野地板 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS)・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) ● 支持部材 (たる木) 一般製材 (JAS) 大きさ：幅 30mm×高さ 40mm以上 施工間隔：455mm以下	● コンクリート下地 厚さ：50mm以上 ・ALC (軽量気泡コンクリートパネル) ・PC (プレキャストコンクリート) ・RC (鉄筋コンクリート)	
	● くぎ又はねじ 野地板の留め付け用 鋼製くぎ (JISA5508) 又は鋼製ねじ 長さ：40mm以上径：4mm以上	—		● くぎ又はねじ 野地板の留め付け用 鋼製くぎ (JISA5508) 又は鋼製ねじ 長さ：40mm以上径：4mm以上	—	

認定を受けた仕様は、防火地域、準防火地域、22条指定地域での適用が可能です。

※ CT-50R 仕様の GT-2 (防火) もあります。

- 施工上の注意事項
1. 下記の材料には、パーメック NR (K) O4 を添加して使用して下さい。(パーメック NR (K) O4 の添加量は 22 ページを参照) CT-100R、CTパテ、CT-2000、CT カラートップ N (防火用)
 2. 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。この様な場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
 3. CT カラートップ N (防火用) 塗布前にバリ取りを行なって下さい。

■ 建築工事標準仕様書

JASS8-2014

FRP系塗膜防水工法・密着仕様 (L-FF)

部位		平場 (RC 下地) (勾配 1/50 ~ 1/20)	立上り (RC 下地)	
工程	工程-1	プライマー塗り [0.2kg/m ²]	プライマー塗り [0.2kg/m ²]	
	工程-2	防水用ポリエステル樹脂塗り [0.4kg/m ²]	防水用ポリエステル樹脂塗り [0.2kg/m ²]	
	工程-3	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.4kg/m ²]	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.2kg/m ²]	
	工程-4	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.4kg/m ²]	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.2kg/m ²]	
	工程-5	防水用ポリエステル樹脂塗り* [0.4kg/m ²]	防水用ポリエステル樹脂塗り* [0.2kg/m ²]	
部位		軽歩行用 仕上塗料	歩行用 仕上塗料	仕上塗料 (平場と同一材料とする)
工程	工程-1	軽歩行用 仕上塗料塗り [0.2kg/m ²]	歩行用 仕上塗料塗り [0.4kg/m ²]	仕上塗料塗り [平場と同一使用量とする]

- 注 (1) RC 打継ぎ目地部の処理は特記による。
 (2) 防水用ポリエステル樹脂は、JASS8M-101-2014 に規定された防水用ポリエステル樹脂とする。
 (3) 防水用ガラスマット #380 は、JASS8M-102-2014 に規定された防水用ガラスマットとする。
 (4) 防水用ポリエステル樹脂の使用量は、表中の量を確保することとし、防水層の厚さは平場で、平均 2.5mm、立上りで、平均 2mm とする。
 (5) *印の防水用ポリエステル樹脂には、トナーを添加する。トナーの種類・添加量は防水材製造業者の指定による。
 (6) 軽歩行用仕上塗料、歩行用仕上塗料は防水材製造業者が指定するものとする。

部位	平場用		立上り用	
	軽歩行用	歩行用	CAW-2-N	CBW-2-N
適用工法	CA-2-N	CB-2-N	CAW-2-N	CBW-2-N
工法	工法 1	CT プライマー 0.2kg/m ²	CT プライマー 0.2kg/m ²	CT プライマー 0.2kg/m ²
	工法 2	CT-100R 0.4kg/m ²	CT-100R 0.4kg/m ²	CT-100R 0.2kg/m ²
	工法 3	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/m ²	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/m ²	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.2kg/m ²
	工法 4	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/m ²	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/m ²	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.2kg/m ²
	工法 5	CT-100R +CTトナー+パラフィン 0.4kg/m ²	CT-100R +CTトナー 0.4kg/m ²	CT-100R +CTトナー+パラフィン 0.2kg/m ²
	工法 6	コンボトップ AU +ファイライト 0.2kg/m ²	CT カラートップ N 0.4kg/m ²	コンボトップ AU +ファイライト 0.2kg/m ²

施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR (K) 04 を添加して使用して下さい。(パーメック NR (K) 04 の添加量は 22 ページを参照) CT-100R、CT カラートップ N
- パラフィン (RS-401 (夏期用) 又は RS-402 (春秋冬期用)) の添加量は、4 ~ 6% です。
- CTトナーの添加量は、CT-100R (20kg) 1 缶に対して、1 缶 (1kg) です。
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- 工程 6 を施工する前にバリ取りを行って下さい。
- ガラスマット #380 は、必ず JASS8M-102-2007 に規定された「ガラスマット #380 (FBK 用)」を使用して下さい。

■ 可使時間

防水用ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂のパーメック NR (K) 04 (硬化剤) の添加量と可使時間の関係は、下記の通りです。

【一般的な防水用ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂のパーメック NR (K) 04 (硬化剤) の添加量と可使時間の関係】

ポリエステル樹脂 : CT-100R、CT-50R
 CTカラートップF
 CTカラートップN
 CTカラートップN(防火用)

ビニルエステル樹脂 : CT-2000
 CT-2500
 CT-3000
 CT-3000JS

夏 用

パーメックNR(K)04 (硬化剤)の添加量	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
気温	10℃	—	—	—
	15℃	—	—	—
	20℃	100分	70分	50分
	25℃	70分	50分	35分
	30℃	50分	35分	25分
	35℃	37分	25分	—

春夏秋用

パーメックNR(K)04 (硬化剤)の添加量	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
気温	10℃	—	—	—
	15℃	120分	80分	55分
	20℃	75分	50分	40分
	25℃	50分	35分	30分
	30℃	35分	30分	20分
	35℃	25分	20分	10分

春秋用

パーメックNR(K)04 (硬化剤)の添加量	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
気温	10℃	—	—	—
	15℃	100分	65分	46分
	20℃	70分	45分	32分
	25℃	48分	31分	22分
	30℃	33分	21分	16分
	35℃	—	—	—

冬 用

パーメックNR(K)04 (硬化剤)の添加量	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
気温	10℃	55分	45分	35分
	15℃	35分	30分	20分
	20℃	25分	20分	15分
	25℃	20分	15分	10分
	30℃	—	—	—
	35℃	—	—	—

(注)このデータは、あくまでも実験データであり、実際の現場では異なる場合がありますので、現場での作業の際は、事前確認作業を行なって下さい。

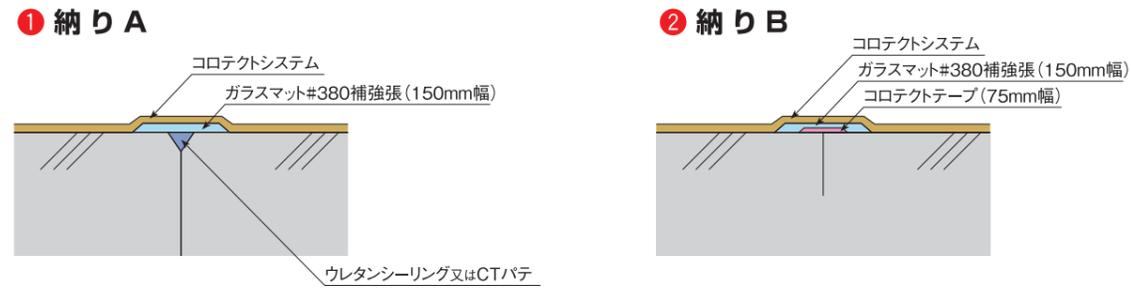
冬 用

パーメックNR(K)04 (硬化剤)の添加量	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
気温	10℃	55分	36分	26分
	15℃	38分	25分	18分
	20℃	17分	17分	13分
	25℃	13分	13分	—
	30℃	—	—	—
	35℃	—	—	—

(注)このデータは、あくまでも実験データであり、実際の現場では異なる場合がありますので、現場での作業の際は、事前確認作業を行なって下さい。

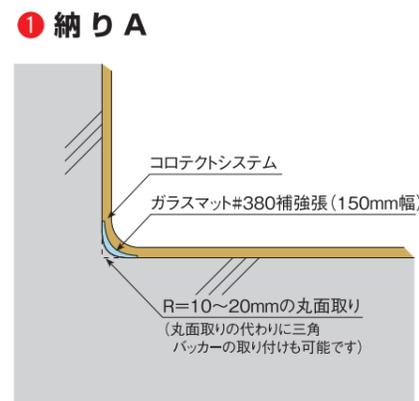
■ 納まり図例

ひび割れ【打継ぎ部(亀裂発生時)】

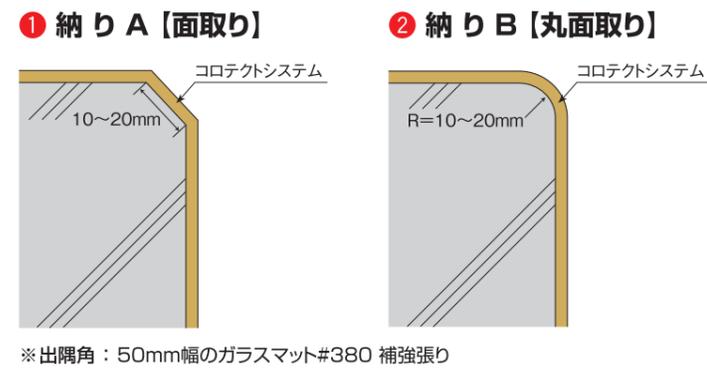


※クラック処理
 (1) 1mm未満の亀裂はそのままCTパテしごき充填
 (2) 1mm以上の亀裂はVカット後、ウレタンシーリング材又はCTパテを充填

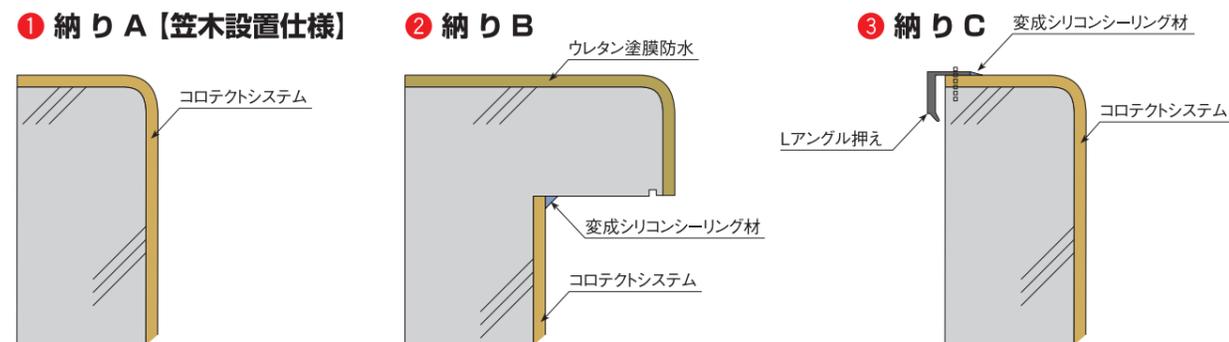
入隅部



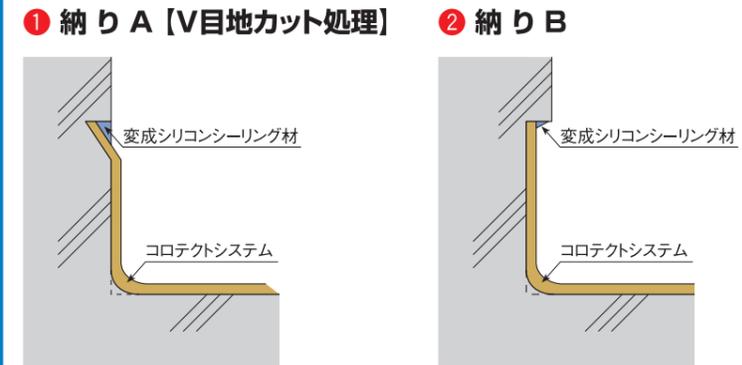
出隅部



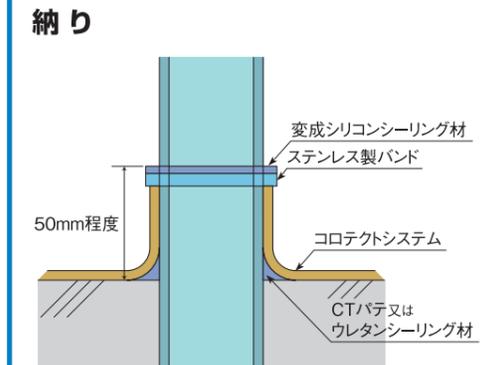
パラペット部



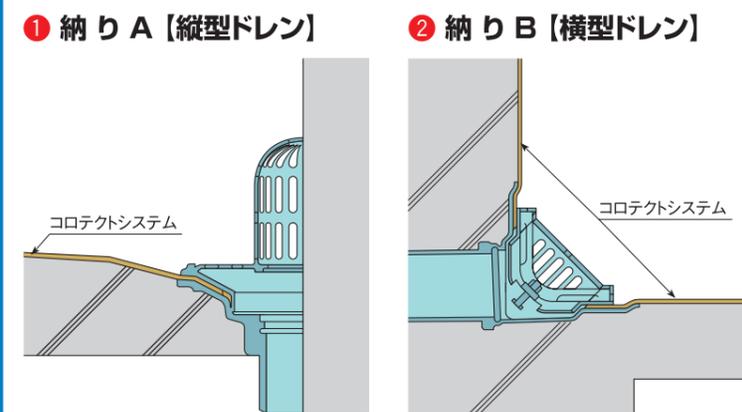
立上り壁部



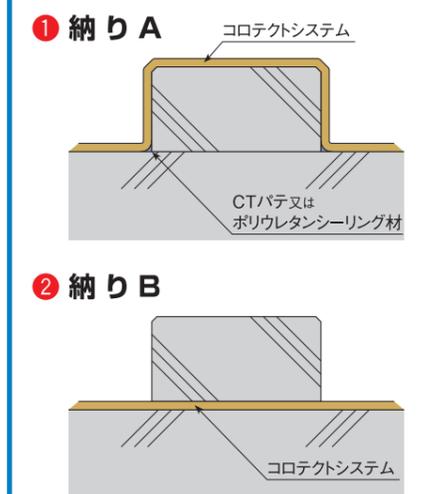
パイプ廻り



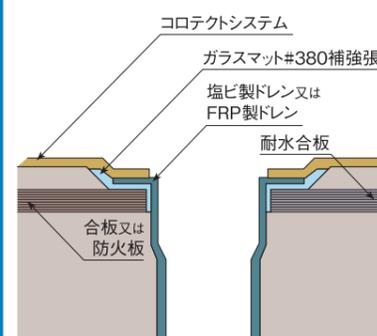
ドレン部



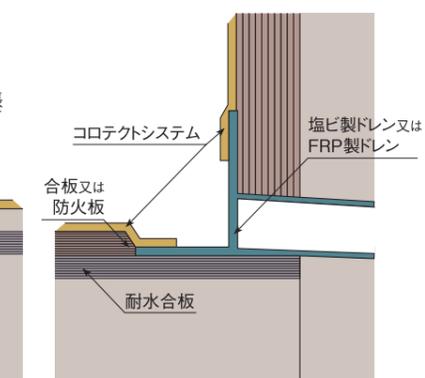
基礎廻り



③ 納り C【木質下地 縦ドレン】

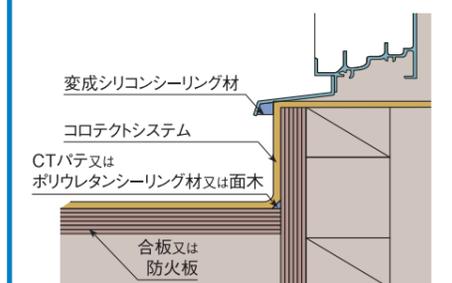


④ 納り D【木質下地 横ドレン】



※納りA、Bについてはシート防水用ドレンをお扱い下さい。

サッシ廻り【木質下地】



※サッシは後付けて下さい。

CT-3000 (ビスフェノール型 ビニル

薬品名	濃度 (%)	使用可能温度 (°C)					備考
		20	40	60	80	100	
塩 酸	10	20	40	60	80		
	20	20	40	60	80		
	37	20	40	60	80		
硫 酸	25	20	40	60	80		
	35	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
硝 酸	5	20	40	60	80		
	10	20	40	60	80		
	20	20	40	60	80		
リン 酸	0~50	20	40	60	80		
ク ロ ム 酸	0~5	20	40	60	80		
	5~20	20	40	60	80		
過 塩 素 酸	10	20	40	60	80		
	30	20	40	60	80		
次 亜 塩 素 酸	10	20	40	60	80		
	20	20	40	60	80		
フッ化水素酸	10	20	40	60	80		
ホ ウ 酸	※	20	40	60	80		
臭 化 水 素 酸	10~25	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
酢 酸	0~25	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
	75	20	40	60	80		
ギ 酸	※	20	40	60	80		
ベンゼンスルホン酸	50	20	40	60	80		
ク ロ ル 酢 酸	0~25	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
トリクロル酢酸	50	20	40	60	80		
シ ュ ウ 酸	※	20	40	60	80		
乳 酸	※	20	40	60	80		
酪 酸	0~50	20	40	60	80		
ク エ ン 酸	※	20	40	60	80		
オ レ イ ン 酸	※	20	40	60	80		
ス テ ア リ ン 酸	※	20	40	60	80		
ア ク リ ル 酸	0~25	20	40	60	80		
酒 石 酸	※	20	40	60	80		
マ レ イ ン 酸	※	20	40	60	80		
フ タ ル 酸	※	20	40	60	80		
安 息 香 酸	※	20	40	60	80		
グ ル コ ン 酸	0~25	20	40	60	80		
ス ル フ ァ ニ ル 酸	※	20	40	60	80		
苛 性 ソ ー ダ	5~10	20	40	60	80		
	25	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
水酸化カリウム	5~10	20	40	60	80		
	25	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
水酸化カルシウム	※	20	40	60	80		
水酸化バリウム	5~10	20	40	60	80		
ア ン モ ニ ア 水	5~10	20	40	60	80		
	20	20	40	60	80		
	29	20	40	60	80		
炭酸アンモニウム	※	20	40	60	80		

エステル樹脂) の耐薬品性

薬品名	濃度 (%)	使用可能温度 (°C)					備考
		20	40	60	80	100	
炭 酸 バ リ ウ ム	※	20	40	60	80		
炭 酸 マ グ ネ シ ウ ム	※	20	40	60	80		
重 炭 酸 カ リ ウ ム	※	20	40	60	80		
炭 酸 カ リ ウ ム	10	20	40	60	80		
	50	20	40	60	80		
重 炭 酸 ナ ト リ ウ ム	10	20	40	60	80		
炭 酸 ナ ト リ ウ ム	35	20	40	60	80		
次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ	5	20	40	60	80		
	10	20	40	60	80		
	15	20	40	60	80		
次 亜 塩 素 酸 カ ル シ ウ ム	※	20	40	60	80		
過 硫 酸 ア ン モ ニ ウ ム	※	20	40	60	80		
塩 素 酸 カ ル シ ウ ム	※	20	40	60	80		
塩 素 水	※	20	40	60	80		
過 マ ン ガ ン 酸 カ リ	※	20	40	60	80		
塩 素 酸 ナ ト リ ウ ム	10	20	40	60	80		
二 酸 化 塩 素	※	20	40	60	80		
ベ ン ゼ ン	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
ト ル エ ン	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
キ シ レ ン	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
ア セ ト ン	10	20	40	60	80		
四 塩 化 炭 素	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
ニ ト ロ ベ ン ゼ ン	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
ナ フ タ レ ン	100	20	40	60	80		
メ チ ル アル コ ー ル	80	20	40	60	80		
エ チ ル アル コ ー ル	95	20	40	60	80		
ブ チ ル アル コ ー ル	100	20	40	60	80		
ア ミ ル アル コ ー ル	100	20	40	60	80		
ベ ン ジ ル アル コ ー ル	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
エ チ レ ン グ リ コ ー ル	100	20	40	60	80		
プ ロ ピ レ ン グ リ コ ー ル	100	20	40	60	80		
グ リ セ リ ン	100	20	40	60	80		
ス チ レ ン モ ノ マ ー	100	20	40	60	80	CT-5000 を適用・CT-3000 不可	
ホ ル ム アル デ ヒ ド	100	20	40	60	80		
ガ ソ リ ン	100	20	40	60	80		
ケ ロ シ ン	100	20	40	60	80		
フ ェ ノ ー ル	5	20	40	60	80		
	10	20	40	60	80		
蒸 留 水	100	20	40	60	80		

試 験 方 法 : 繊維強化プラスチックの耐薬品性試験方法 (JIS K7070) に準ずる。
 耐薬品性の評価基準 : 供試体を薬液に1年間浸漬した後の強度の保持率を持って評価した。
 使用可能温度範囲 : 供試体の曲げ強さ、曲げ弾性率及びバーコル硬度の保持率が60%以上であること。
 ※は飽和水溶液です。

上記データは、使用可否の目安とするもので、
 防食性能を保証するものではありません。

■ プライマー

FRP防水を施工するときに使用するプライマーは、下地の種類により処理方法が異なります。

下地の種類	プライマー製品名	荷姿	塗布量	適用	処理方法
コンクリート	CTプライマー	16kg/缶	0.2kg/m ²	一般用	1成分型ですので、開封後すぐに塗布する。
	CTプライマー+CTプライマー添加剤	16kg/缶 8kg/箱	0.2kg/m ²	接着力保持用	CTプライマー 16kgを半分の8kgに小分けし、これにCTプライマー添加剤 4kg (1袋)を加え十分に攪拌する。
タイル・ガラス面等	CTプライマー+プライマーT	16kg/缶 0.2kg/缶	0.15~0.2kg/m ²	—	CTプライマー 1缶にプライマーTを0.2kg添加混合し、塗布する。
金属面	CTプライマーS	5kg/セット	0.15~0.2kg/m ²	—	2成分型ですので、所定の配合で混合し、塗布する。
湿潤面	WPスーパーN	—	下塗り 0.2kg/m ² 上塗り 0.6kg/m ²	—	下塗り 主剤・硬化剤を配合比(主剤/硬化剤=1/3)で計量し混合攪拌する。 下塗骨材を徐々に添加し(樹脂/粉体=1/1)更に混合攪拌する。 金コテで下地に擦り込む様に薄く塗布する。(標準塗布量:0.2kg/m ²) 下塗り養生 下塗りが硬化し、歩行可能な状態となるまで養生する。
	WPスーパーN主剤 WPスーパーN硬化剤 WPスーパーN硬化剤(S-MW) WPスーパーN下塗骨材 WPスーパーN上塗骨材	5kg/缶 15kg/缶 15kg/缶 20kg/缶 20kg/缶	—		上塗り 主剤・硬化剤を配合比(主剤/硬化剤=1/3)で計量し混合攪拌する。 上塗骨材を徐々に添加し(樹脂/粉体=1/2)更に混合攪拌する。 金コテで平滑に塗布する。(標準塗布量:0.6kg/m ²) 上塗り養生 上塗りが硬化し、歩行可能な状態となるまで養生する。 (施工間隔の目安:5時間以上/25℃)
	CTプライマー	16kg/缶	0.2kg/m ²		プライマー 上塗りが硬化したのを確認してから、CTプライマーを塗布する。
	—	—	—		—

■ トップコートの塗り替え

FRP防水層(コロテクトシステム)のトップコートを塗り替える場合には、下記の方法で行って下さい。

1 既存FRP防水層のトップコートがポリエステル樹脂(CTカラートップ)の場合には、

1-1. トップコートに不具合が発生していない

A CTカラートップで塗り替える時

工程 1	既存のトップコートを撤去(ガラスマットが見えるまで削る)
工程 2	清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	CT-3000をプライマーとして塗布する
工程 4	ガラスマット或いはサーフェイスマットを張り、ビニルエステル樹脂を塗布する
工程 5	CTカラートップを塗布する

B コンボトップAUで、塗り替える時

工程 1	既存のトップコートを水洗いする
工程 2	乾燥養生
工程 3	コンボトップAUを塗布する

1-2. トップコートに不具合が発生している

工程 1	既存のトップコートと中塗りを撤去(ガラスマットが見えるまで削る)
工程 2	清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	CT-3000をプライマーとして塗布する
工程 4	ガラスマット或いはサーフェイスマットを張り、ビニルエステル樹脂を塗布する
工程 5	CTカラートップを塗布する

2 既存FRP防水層のトップコートがアクリルウレタン樹脂(コンボトップAU)の場合には、

2-1. トップコートに不具合が発生していない

工程 1	既存のトップコートを水洗いする
工程 2	乾燥養生・清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	コンボトップAUを塗布する

2-2. トップコートに不具合が発生している

工程 1	高圧洗浄
工程 2	浮き部分をサンダー掛けて撤去し、補修する
工程 3	清掃・養生
工程 4	層間プライマーJを塗布する
工程 5	コンボトップAUを塗布する

注)浴室防水工法の場合には、
1-2の工法を採用し、FRP樹脂が工程3をCT-3000、
工程4をCT-3000トップコートで、行って下さい。

■ 基本物性

■ FRP樹脂及びFRP防水層の基本物性

項目	樹脂条件	CT-100R	CT-50R	CT-2000	CT-3000
引張強さ	N/mm ²	22	28	78	106.8
曲げ強さ	N/mm ²	—	—	132	147
伸び率	%	94	64	4.5	4.6
バーコル硬度	J-934-1	15	15	37	40

■ FRP防水層の下地ひび割れ追従性

項目	樹脂条件	CT-100R	CT-3000	試験方法
		ガラスマット含有率	ガラスマット含有率	
		20%	20%	
破壊荷重	N/mm ²	56.8	218.7	各樹脂にガラスマット#450を1プライ施工した試験体を10mm/minで引っ張りました
伸び量	mm	1.8	0.8	

■ トップコートの耐候性

試験条件	CTカラートップF		コンボトップAU		試験方法
	光沢保持率(%)	色差(ΔE)	光沢保持率(%)	色差(ΔE)	
サンシャインウェザオメーター 500時間	90 光沢低下は目立たない	1.26 変色は目立たない	94 光沢低下は殆ど分らない	0.3 変色は殆ど分らない	CT-2000 / CT-2500の上にトップコートを塗布して促進耐候性試験を行いました。
サンシャインウェザオメーター 1000時間	79 僅かな光沢低下	2.38 僅かな変色	88 僅かな光沢低下	0.8 変色は殆ど分らない	

注意事項

バルコニーにおける FRP 防水層を維持管理する上での注意事項

FRP防水層の機能を長期的にわたって維持する為に、下記の注意事項を遵守してください。

使用上の注意事項

- ① 防水層の上では火気の使用は厳禁です。(喫煙・花火・バーベキューなど) 防水層を燃焼させたり変質させたりして、漏水の原因になる事があります。
- ② 防水層の上に有機溶剤(ガンリン・灯油等)薬品類(殺菌剤・防藻剤等)・不凍液などをこぼさないで下さい。防水層に異常をきたし、機能を損なう恐れがあります。
- ③ 防水層の上で重量物を引きずったり、角鉄材など損傷を与える物を落とさないで下さい。防水層が剥離したり損傷を受けます。
- ④ 防水層の上に角のある物や避雷針・テレビアンテナ・空調設備・物干し台・鉢植え等を設置する場合は、防水層を損傷しないよう下にゴム板等の下敷材を敷いて養生して下さい。またイスやテーブルのような軽い物でも、脚をゴムキャップなどで保護して下さい。
- ⑤ 防水層の上に土を置き植物を植える場合は建築会社に相談して下さい。
- ⑥ 防水層の上に生活排水等を直接流さないで下さい。防水層の劣化を早める恐れがあります。また、防水層の上に冷却排水等が常時滞留することのないようにして下さい。コケなどが発生して防水層に悪影響を与える恐れがあります。
- ⑦ 防水層の上で運動や工作作業をする場合は刃物・カッター等で傷付けたり、尖った物、重量のある物で衝撃を与えないよう注意して下さい。防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑧ 防水層の上でゴルフの練習や車輪等を使用する遊び(一輪車・ローラースケート等)はやめて下さい。防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑨ 防水層の上で犬、鶏などの動物の飼育をしないで下さい。動物がツメや歯で防水層を傷付けたり、排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。
- ⑩ 防水層の上の雪を除去する場合は、防水層に傷を付けないよう注意して作業して下さい。
- ⑪ 防水層の上を歩行する場合は、防水層を損傷する履物は使用しないで下さい。スパイクなどは防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑫ 防水層は降雨・降雪時、あるいは表面が水で濡れている場合は滑りやすいことがあるので注意して下さい。歩行する場合は、凹凸の模様のあるゴム底などの滑りにくい履物を使用して下さい。

維持・管理上の注意事項

- ① 防水面は定期的に清掃してください。清掃は、ほうき、デッキブラシ、スポンジ、雑巾等で行って下さい。スチールたわし・ワイヤーブラシ等の使用は避けてください。また洗剤は中性洗剤を使用して下さい。
- ② 定期的にドレンまわりと排水溝のゴミ、枯れ葉など堆積物を除去し排水につまりが無いようにして下さい。
- ③ 定期的に表面状態の点検を行って下さい。表面の保護仕上げ層に異常が認められる場合は施工業者に連絡して下さい。
- ④ 防水層に損傷を与えた場合や異常が発生した場合は速やかに建築会社に連絡して下さい。
- ⑤ 防水層の長期維持の為、定期的に仕上材(メーカーの指定材料)を塗り替えることをお勧めします。
- ⑥ 防水に関わるバルコニーやその周辺の増築あるいは改築工事を行う場合は、防水層を損傷させたり雨水の流れが変化し雨漏りにつながる恐れがありますので、工事を行った建築会社にご連絡下さい。

FRP 防水材の取扱い注意事項

取扱い注意事項

- ① プライマー、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、トップコート類は、溶剤タイプであり、消防法危険物第4類に属し、引火性がありますので、火気には充分注意して下さい。
- ② 施工時は、換気に充分注意して下さい。必要に応じて、有機ガス用マスクや送風マスクを着用して下さい。
- ③ パーメック NR (K) O4 (硬化剤) は、少量でも取扱いに充分注意して下さい。
- ④ パーメック NR (K) O4 (硬化剤) を添加した樹脂は、発熱しますので、残った材料には必ず水を添加し、反応を停止させて下さい。
- ⑤ プライマー、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、トップコート類は、冷暗所の屋内に密栓して保管して下さい。補強材は、水に濡れない様にし、湿度の少ない場所に保管して下さい。
- ⑥ 下地温度が0℃以下や50℃以上の場合には、施工を控えて下さい。
- ⑦ 作業環境により、次の有資格者を選任して下さい。
 - 有機溶剤取扱作業主任者
 - 酸素欠乏危険作業主任者
 - 危険物取扱者

使用材料一覧

一般型 FRP 防水材

一般名称	品名	荷姿・入目	備考	
プライマー	CTプライマー	16kg/缶	1液性湿気硬化型ウレタン樹脂(一般用)	
	CTプライマーJS	16kg/缶(要:納期確認)	1液性湿気硬化型ウレタン樹脂(下水道C種、D種用)	
	CTプライマーS	5kg/セット	2液性ウレタン樹脂(アルミ・ステンレス・亜鉛等)	
	WPスーパーN	主剤	5kg/缶	湿潤面下地用3種混合エポキシ樹脂系下地処理材
		硬化剤	15kg/缶	
		硬化剤(S)	15kg/缶	
		下塗骨材	20kg/袋	
上塗骨材	20kg/袋			
プライマーT	0.2kg/缶	特殊下地用プライマー添加剤(CTプライマーの1缶に対して0.2kg配合)		
CTプライマー添加剤	20kg/箱(4kg×5袋)	接着力保持用添加剤		
層間プライマーJ	12kg/セット	ウレタン下地用ウレタン樹脂系プライマー		
下塗り・中塗り樹脂	CT-100R	18kg/缶	不飽和イソ系ポリエステル樹脂(軟質型)低揮散	
	CT-50R	20kg/缶		
	CT-2000	16kg/缶	中塗用ビニルエステル樹脂(既着色アイボリー)	
	CT-2500	16kg/缶	耐食性ビニルエステル樹脂(既着色グレー)(パラフィン入り)	
	CT-3000	16kg/缶	耐食性ビニルエステル樹脂(無着色)	
	CT-3000JS	18kg/缶(要:納期確認)	耐食性ビニルエステル樹脂(無着色・下水道C種、D種用)	
	CT-3000中塗り	16kg/缶(要:納期確認)	耐食性ビニルエステル樹脂(調色可能)	
	CT-5000	18kg/缶(要:納期確認)	耐食性ノボラック型ビニルエステル樹脂(無着色)	
	CTフレーク	18kg/缶(要:納期確認)	ガラスフレーク入り耐食性ビニルエステル樹脂(無着色)	
	トップコート	CTカラートップF	20kg/缶	上塗用不飽和ポリエステル樹脂(既着色)
CTカラートップN		20kg/缶	上塗用不飽和ポリエステル樹脂(既着色)骨材入り	
CTカラートップN(防火用)		20kg/缶	防火用上塗用不飽和ポリエステル樹脂(既着色)骨材入り	
CTカラートップN(防火用、遮熱)		20kg/缶(要:納期確認)	防火用、遮熱、上塗用不飽和ポリエステル樹脂(既着色)骨材入り	
コンボトップAU		18kg/セット 4.8kg/セット(要:納期確認)	既調色上塗用アクリルウレタン樹脂	
コンボトップAU遮熱		18kg/セット(要:納期確認)	遮熱用既調色上塗用アクリルウレタン樹脂	
CT-3000トップコート		16kg/缶(要:納期確認)	耐食性ビニルエステル樹脂(調色可能)(パラフィン入り)	
CT-3000トップコートJS		18kg/缶(要:納期確認)	耐食性ビニルエステル樹脂(グレー※N-55)(パラフィン入り)	
CTフレークトップコート		18kg/缶(要:納期確認)	耐食性ビニルエステル樹脂(グレー※N-55)(パラフィン入り)	
着色剤		CTトナー	1kg/缶	着色用カラーペースト
	パーメックNR(K)O4	1kg/ビン 5kg/ビン	MEKパーオキシサイド(材料に対して0.8~2.0%添加)	
硬化剤及び助剤	CTコバルト	1kg/缶	硬化促進剤(CT-5000に0.3~1.0%添加)	
	CTワックス	1kg/缶	パラフィンワックス(CT-5000をトップコートとして使用する場合に5%添加する。)	
	CT促進剤	1kg/缶	低温時、促進剤CT-3000JS、CT-5000に対して0.5~3%添加する。	
	補強材	ガラスマット#380	両耳 巾1.0m×76m/巻	チョップドストランドマット
ガラスマット#450		両耳 巾1.0m×64m/巻		
ガラスマット#380(FBK用)		両耳 巾1.00m×71m/巻	JASS8-2007用チョップドストランドマット	
サーフェイスマット30P		巾1.04m×200m/巻	ガラス繊維製不織布	
CTパテ		3kg/缶	下地処理用ポリエステルパテ	
副資材	CTパテJS	10kg/缶(要:納期確認)	下地処理用ポリエステルパテ(下水道C種、D種用)	
	コロテクトテープ	巾75mm×20m/巻(6巻/箱)	絶縁用不織布付きプチルテープ	
	ジョイントテープTM	巾100mm×50m/巻	通気緩衝シートジョイント補強用テープ	
	FVシート	巾1m×10m/巻	自着層付き通気緩衝シート(非加硫プチルゴム系)	
	タルク	25kg/袋	増粘材	
	フィライト	0.5kg/箱	トップコート混合用微骨材	
	メチクロ	20kg/缶	不燃性洗浄用溶剤	
	アセトン	12.7kg/缶	可燃性洗浄用溶剤	
	三角バッカー	15mm×15mm×1m(50本入り)	裏面糊付き発泡ポリエチレン製バックアップ材	
	砕砂4号 ~ 砕砂7号	30kg/袋	砕砂	
	セラミックボード	平場用 側溝用 200mm×400mm×15mm 300mm×400mm×15mm(要:納期確認)	化粧耐火板	

* 日塗工近似色です。